

さくらぎだより

第61号 (令和4年2月1日発行)

目次

○『ポストコロナウイルス』	1P
○通所たより	2～3P
○入所たより	4～5P
○感染対応シミュレーション	6～8P

ポストコロナウイルス

こんにちは、園長の柿沼です。オミクロン株が猛威を振るっています。ワクチンが重症化を予防できれば、インフルエンザと同じ病気と考えていいのかもしれませんが。そうなれば、定期的に予防接種をおこなって対処できるかもしれません。さて、このコロナウイルスは、人類の生存に多くの示唆を与えたように思います。メッセンジャーRNA ワクチンの開発を可能にしたように、絶え間ない科学技術発展の必要性は特筆すべきです。全世界が共通の脅威に立ち向かうときの連帯感も経験できたように私には思えます。一方で、コロナウイルスが収束した次に備えることも必要です。

日本は、この十年の間に、地震や津波、台風などの自然災害や、核爆発など生存に脅威となる多くの経験を重ねてきました。世界的には、水や温暖化の問題もあります。地球に住み続けるには解決すべき課題は山積しています。

経済的発展と地球環境の保護の両立に英知を傾ける必要があります。経済は効用の最大化で発展してきましたが、人の行動は、必ずしも効用の最大化を目指してはいないようです。多くの人が上手にお金を使う行動を選択すれば、その結果、莫大なお金を集めることができます。これが経済発展です。この恩恵をクリーンエネルギーの産生、人工知能の活用による安全・安心の居住空間の構築、人の健康や生きがい作りに投資することも可能です。

人類は先代から多くの知恵を蓄積してきました。誰もがこれらを文字から学習します。文字ではなく世界共通の別の媒体からこれらが得られるようになると発展のスピードが変わってきます。生命の根源で安定的なリボ核酸はその候補のようにみえます。科学技術の発展が幼少時にこれらを接種することによる迅速な知恵の獲得を可能にする日が来ることを妄想しています。

通所たより 1

ハロウィン



桜木園の魔女たち?!



扉の向こうはほぼ暗闇…不気味に光るガイコツや足元のランプ。入った途端に表情が強張ります。目が慣れてきたと思ったらスタッフ扮するドラキュラが現れてびっくり!!お守りのお化けマスクをもらい、ひと安心の笑顔です。

Happy Birthday

お誕生日カードの写真に釘付けになる方、ハッピーバースデーの歌に嬉しそうな笑顔になる方、大きなケーキの登場に思わず笑い声が出てしまう方、あえて素知らぬ風を装う方など毎回豊かな表情がいっぱいの誕生会です。



通所たより2



今年は寝ころびアートでミニサンタに変身です。写真に撮った自分の姿を見て嬉しそうにされる皆さんです。こんな可愛いサンタさんにプレゼントをもらったらとても幸せな気持ちになれそうです。

メインイベントは本物！？のサンタからのプレゼントです。ビックリしすぎて目はパチクリ👁️、口はあんぐりの方も！



グループ外出

久々のお出かけに皆ウキウキです♡ 川沿いの歩道をお散歩。向こう岸から撮った写真は圧巻です。加曽利貝塚では、ガチャポンに挑戦。かそりーぬのキーホルダーをゲットしました！スターバックスに出かけたグループでは、ご家族におみやげのコーヒーを買ったり、期間限定メニューのラテをテイクアウトしたりと楽しみました。



入所たより1



まん延防止＆緊急事態宣言が解除され『ドライブ』へ行ってきました。ちょっと肌寒い時もありましたが、元気に楽しくドライブに参加出来ました。

今年初の試みで『駄菓子 桜屋』をオープンしてみました。懐かしいお菓子やジュースがあって何を買おうか迷ってしまいました。



入所たより2

今年は60歳を迎えた方がおり、桜木園初の『敬老会』を行いました。



毎年恒例クリスマス会☆

今年もコロナでサンタさんが来てくれるか心配しましたが、無事に桜木園にも来てくれました!!

クリスマス会の後には…クリスマスケーキを食べました♡



感染対応シミュレーション 1

昨年の12月14日に、桜木園に新型コロナウイルスオミクロン株の陽性者が確認されたことを想定して、病棟全体を汚染区域（レッドゾーン）として感染対応のシミュレーションを行いました。



レッドゾーンへの立ち入りは予防衣を着用します。実際に陽性者が出た場合は化学防護衣（タイベック）を着用しますが今回はシミュレーションのため個人用防護具を着用して行いました。



感染症対策の個人防護具とは、マスク、手袋、キャップ、フェイスシールド（ゴーグル）、シューズカバー、ガウン（エプロン）などです。



陽性者を感染部屋に移動します。廊下を通ると感染拡大のリスクがあるため外からの移動ルートとなります。



感染対応シミュレーション 2



ナースステーションはデイルームへ移動します。
カルテや経過版、指示書など必要な物すべてをここへ揃えます。
Drは回診後にリーダー看護師へ指示を出します。
病棟（レッドゾーン）への連絡は医療用 PHS または、内線電話で行います

注入者の方はディスポバッグの注入剤を使用します。
栄養剤は同じものですが、感染リスクを下げるために消毒して繰り返し使用するボトルではなく使い捨ての注入バックとなります。

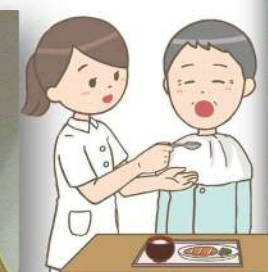


経口で召し上がる利用者のお食事は
ディスポ食器で提供されます。
個々の食事形態に合わせて調理されており、
氏名、形態、摂取カロリーなどが書かれた
名札がラップの上に貼られています。

感染対応シミュレーション 3



配膳者は中央入り口までストップします。
ドアより先は準汚染区域となり、病棟のスタッフに
バトンタッチされます。



食事介助後、ディスポ食器は袋に入れて蓋つき
ゴミ箱へ破棄します。スプーンとピジョンの容器
は外に設置された消毒液に浸けます。



消毒液に浸けたスプーンとピジョンの容器は
厨房スタッフが外から回収します。

〒264-0028 千葉市若葉区桜木 8-31-15
社会福祉法人 千葉市社会福祉協議会

千葉市桜木園 電話 043 (231) 5865
FAX 043 (231) 7862

HP <https://shafuku-chiba.jp/sakuragi.html>
e-mail sakuragien@lime.ocn.ne.jp